

日光今昔物語

第三話

～ 栗山地域の路線バス ～



栗山地域を走る路線バス(昭和28年ごろ)



現在の路線バス

昭和16年、発電所建設のために開通した川治トンネル。これにより鬼怒川から川俣まで車の通行が可能になりました。その後、昭和19年に川治から青柳平まで、昭和28年には川俣まで東武バスが運行されるようになりました。

当時は2日かけて一往復の運行でしたが、住民にとっては貴重な交通手段でした。バスには運転手のほかに車掌が同乗しており、運賃の管理や狭い道での

バスの誘導などをしていました。自家用車の普及に伴い、昭和62年に東武バス女夫湫線は廃止されましたが、代わりに栗山村営バス(現在の日光市営バス)の運行が開始されました。

道路の整備により、運行当時、川治から2時間かかっていた道のりを約半分の時間で通行することができるようになりました。今ではたくさんの観光客に利用され、紅葉のシーズンなどは大変なごわいを見せています。

今月の表紙



5月3日(水)、足尾地域で足尾まつりが行われました。足尾銅山の繁栄と安全を願って大正時代から行われていた山神祭は、昭和48年の銅山閉山で終わりを告げましたが、地元の人たちの願いにより昭和52年に足尾まつりとして復活しました。毎年5月3日には、華やかに飾られた山車や神輿が盛大に練り出します。

5月の人口と世帯数

人 口	95,854人	(- 21)
男	46,752人	(- 10)
女	49,102人	(- 11)
世帯数	35,942世帯	(+ 59)

※住民基本台帳による(5月1日現在)
※()内は前月比



広報いまいち8月号表紙

松尾芭蕉が奥の細道紀行で日光を訪れ「あらたふと青葉若葉の日の光」と愛でた、新緑の眩しい季節となりました。

今月はうれしいお知らせをさせていただきます。

昨年度の広報いまいち8月号の表紙が、日本広報協会主催の全国広報コンクール写真の部において、8席に入選するという快挙を成し遂げました。このコンクールに入選することは、プロの目による高い評価を得たということであり、広報紙作成に携わる者としては名誉なことです。

広報にっこうは新たなメンバーが加わり編集を行っております。この入選を糧としてさらに質の高い広報紙作りをしていきたいと思っております。(恵)